

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790101117		
法人名	株式会社 SOYOKAZE		
事業所名	あったかいご方木田グループホームそよ風1丁目		
所在地	福島県福島市方木田字北白家15-1		
自己評価作成日	令和7年3月14日	評価結果市町村受理日	令和7年6月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/07/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県福祉サービス振興会		
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	令和7年5月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1丁目 認知症の症状が重度の方が比較的多く、ご自身の想いを伝えることが困難なお客様が多く、また食事介助などの身体介護が必要なお客様が多い中、日々の様子や会話・表情などでお客様の想いや状態を知り、日頃からの職員間で話し合ったりミーティング等で意見交換をし合いながらお客様にとってより良いケアは何かを探りながらケアに努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 利用者との日々の会話の中から意向の把握に努めているが、困難な場合「ひもときシート」を活用し、会議で利用者の視点から課題について話し合いをし、一人一人がその人らしく暮らせるように取り組んでいる。
 2. 入居時に受診先について話し合い、従来のかかりつけ医通院を勧め、通院困難になった時に協力医の往診を勧めている。かかりつけ医通院は家族同行としているが送迎を職員が行い、診察の際にも同席し、日頃ケアをしている職員の同席は心強く家族から喜ばれ、本人・家族の希望に沿った医療支援に取り組んでいる。
 3. 利用者の排泄パターンを把握し、個々別に合わせた時間で誘導をし、現在、約半数弱の方が布パンツを利用する等、排泄の自立に向けた支援をしている。また、日中ベッドで過ごす寝たきりの方が利用している訪問マッサージ師の指導を受けオムツ交換時にマッサージを行う等、手足の拘縮防止に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの役割を考えながら事業所独自の理念を作り上げている	理念は、5年前に管理者が地域密着の意義をふまえて作成したものを継続している。常に確認できるように玄関や事務所、各ユニットのホールに掲示してある。また、職員採用時のオリエンテーションで説明し、共有し実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の集まりにお呼び頂き認知症サポート養成講座を受講していただき参加して頂いた町内の方にはオレンジリングを配布致しました。	町内会に加入している。町内の高齢者の集まり時に認知症サポート養成講座の依頼があり、同時に事業所の取り組みを紹介している。また、近くの保育園との交流や学生ボランティアの訪問等の他、地域の方が使わなくなったおむつや手芸作品を持参してくれる等、日常的に交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症キャラバンメイトの修了書を持っている。運営会議を通して認知症への理解を話している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	地域代表・ご家族様代表・地域包括職員・町内会長・民生委員の参加により、地域での出来事や施設内での出来事の情報の共有化をし、常に認知症の方が地域で暮らし続けていくにはをテーマにアットホームな雰囲気の中話し合いをしています。また、町内での行事の共有や情報交換をさせて頂いております	定期的開催し、事業所の現状や実施した避難訓練の課題等を報告し、委員から地域の情報や課題が出される等、相互間の意見交換の場となっている。また、地域に一級河川の荒川が流れ浸水地区の為、事業所を心配する意見が出されている。	会議では、サービス内容や活動状況(利用者数・平均年齢・平均介護度・イベント等の状況・事故報告・利用率等の現状や今後の課題等)について報告し、会議録は、参加者から得た質問・意見・助言等の内容を分かり易く記録することが望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括職員や長寿福祉課職員、在宅医療・介護連携支援センターへ困難ケースや等相談をして頂いております	管理者は、直接、市窓口に向いて事故報告や相談をしている。センター長は市役所の会議等の出席が多く窓口の職員と良好な関係がある。市からの連絡は、メールや電話が多くなっている。地域包括支援センターに介護保険関係の書類の提出や困りごとを相談する他、他の相談機関等との連携にも取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修や勉強会・会議を行い常に身体拘束について話しあい防止に努めております。玄関の施錠に関しては、このご時世防犯面や安全面を考慮しオートロックでの対応に切り替わりましたがお客様が希望されればいつでも施錠可能としています。	指針は法人が身体拘束等の適正化指針と高齢者虐待防止の指針と併せて策定している。指針に基づいて委員会を毎月開催し、虐待防止研修と合同で法人本部指示の資料と介護専門職向けの情報誌を参考にした内容で研修を年2回実施している。玄関がオートロックなので、利用者が玄関に出て来た時に一緒に出かける等の配慮をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	福-1	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	積極的に外部研修へ参加し常に虐待とは何かを考え、スタッフも日常のケアの中で虐待になるのか…等を声掛けも含めその都度確認しケアに努めている。2ヶ月に一回虐待廃止会議を行い、虐待につながらないか確認しながら防止に努めています。また、会社全体が虐待廃止に力を入れております。	委員会を、指針に基いて身体拘束適正化と合同で毎月開いている。年1回研修の中で虐待の芽チェックリストを行っている。また、職員のメンタルヘル스에配慮し年1回ストレスチェックを行い、虐待の芽を小さいうちにつむ心の健康づくりに取り組んでいる。	委員会議事録に身体拘束適正化及び虐待防止の会議内容を記載することが望まれる。また、指針には虐待防止担当者の明記や構成委員と重要事項の虐待防止担当者の役割が一致していないので、整合性を図ることが望まれる。
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括職員に相談をしています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし理解の上で入居頂いております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会社全体でアンケートを実施しご家族様へ聞き取り運営に取り入れております	利用者から、日々の会話の中で思いを聴くように努め、職員間で情報を共有している。また、法人が年1回家族にアンケートを直送し、集計結果は事業所へ報告があり、事業所から家族へ報告している。また、家族との会話を大切にし面談時やSMSで意見を聞き運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフと日常の何気ない会話の中での言葉をすくい上げ運営に反映するよう努力しています。また、個人面談の実施をしております。	毎月の全体ミーティングやユニットミーティングで利用者のケアについての意見が多く出されている。また、職員は、日々の業務の中で管理者に気軽に相談し、内容によってはミーティングで話し合っている。管理者は、面接を特に場を設けるのではなく普段の会話中から思いを聞く等し意見提案を聞く機会を多く設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に1度会議を開いており私たちの意見を聞いて頂いています。		
13	福-2	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1度会議を開いており私たちの意見を聞いてくださっており、そのような場を設けるよう推奨して下さっております	研修を法人の年間研修予定表に基づいて事業所内で実施し、また、グループホーム団体の研修会へも参加する機会を設けている。初任者・実務者研修も本社で実施している。新採時は、管理者やユニットリーダーによるOJTを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修の大切さを理解して下さっておりそのような場を設けるよう提案を聞いて下さり実現しております		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の実態調査にて想いをくみ取っております。また、ご本人様から聞くことが困難な場合はご家族様からの意見を参考にしております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の実態調査にて想いをくみ取り、また、改めて入所した初日にまた想いを聞いております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の実態調査にて想いをくみ取り、また、改めて入所した初日にまた想いを聞きより良い生活にするには…と…一番に考え努めております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ここでの生活の主はご利用者様であることをスタッフも再認識し自立支援と自己決定が出来る様な支援の取り組みをしております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へも積極的に関わって頂くよう受診日にはご家族様にも同行して頂き一緒にお薬や体調の情報共有をさせて頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所付き合いが継続出来るよう面会時にはこちらからも「いつでも良いのでまたお越しください」とお伝えしております。また、ホーム内での関係も途切れないよう関わりを持てる支援に努めております	面会は事前に電話予約とし、時間制限をせずに居室内で行っている。家族や兄弟、これまで住んでいた近所の方等の訪問がある。家族と外出や外泊等に自由に出かけて貰い、関係が途切れないよう支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士で何かされる際には見守るようにしております。(あれとってや貸して等の簡単なこと)関係の良くないお客様同士の関わりあいには距離感にも気をつけております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も支援物資を寄付して下さったり、また知り合いの方に当施設をご紹介下さったりと関係性を大事にしております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の様子からも思いや希望をくみ取るように努めています。月1回担当者会議を開き把握に努めています。	日々のふれあいの会話からの把握や入居時に本人・家族から思いや趣味を聞いている。困難な時は「ひもときシート」を活用し会議で課題に向けて話し合いをしている。また、家族へ相談や協力を得て、家族と共に利用者の思いに沿った支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から昔の話しを聞いたり、ご家族様とお話する機会をつくりその方の人生全体を捉えて関わられるようにしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様には担当スタッフがついており、担当スタッフ中心に日ごろの把握に努めその都度ミーティングにて見直しを行っております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	体調の変化や日々の関わりの中で利用者様やご家族様の意向を把握し職員間でケース検討会議を行い介護計画書を作成しております	入居時、事業所で新規カンファレンスを行い、その後本人・家族と面談し、暫定1か月・短期3か月・長期6か月の意向に沿った介護計画を作成している。毎月ユニットごとにモニタリングを行い、見直し時のサービス担当者会議に家族の出席は無いが、家族面会時や電話で説明し同意を得ている。緊急時は現状に即した計画の見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った支援、その結果を記録できております。気づき・工夫等も記録しリーダーが吸い上げ統一した対応が出来るようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況が変わった時は、最善のケアが出来るようにアイデアを出し合い、試行錯誤しながら支援に取り組んでおり、そのための勉強会も行っています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の協力を得ており、ご利用者様が帰宅願望にて外出をしても温かく見守ってくださっております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各ご利用者様には在宅から続いている主治医がおり継続出来るようサポートしております。また、受診が困難になった場合にはご家族様と相談し病院を選んで頂いております	かかりつけ医への継続受診を基本としている。かかりつけ医への受診が困難になった場合に、家族と相談して協力医の往診を勧めている。かかりつけ医の受診では職員が送迎を含め付き添って生活状況を伝えている。協力医やかかりつけ医の受診結果はショートメールで家族へ報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護に向け担当者がノートに記入しその都度処置の指示やご指導をうけ日々のケアに活かせてます		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員とこまめに連絡をとり早期退院に向け会議に参加したりと良好な関係を築いております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応指針やホーム内の看取りについて入居時に説明しホームの指針を理解した上で入居して頂いております。また、状態変化に伴い改めて再度看取りの指針を理解していただき同意書をもらい地域の医療関係者様・スタッフ・ご家族様が一体となり取り組んでおります	入居時に、指針に基づき事業所の方針を説明している。主治医の終末期の診断後に家族を交えて話し合いを行い、家族の意向により看取りを行っている。法人契約の訪問看護師の来所があるが、点滴が必要な利用者は個人契約で訪問看護にお願いしている。毎年、看取り研修を行い、看取り後は家族と一緒にエンゼルケアを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様ごとに起こりうる急変やリスクについて予測、検討し対応の仕方をスタッフで共有しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日々掃除の時火災防止の為危険箇所がないかチェックをしている。年に2回の総合避難訓練を行いまた、運営会議にて災害(水害も含む)時の対応の確認もしております	ハザードマップでは5mの浸水被災想定区域になっている。年2回水害と火災想定避難訓練を実施している。消防署の立ち会いを要請しているが、3年前から立ち会いは得られていない。運営推進会議で災害時の近隣住民の協力要請をアピールしているが、新興住宅地で若い世代が多いこともあり協力体制は築かれていない。	水害時の避難先や方法、避難開始時期等について検討のうえ、職員への周知と避難訓練の実施が望まれる。夜勤者の夜間想定避難訓練の実体験を中心に夜間や地震など様々な想定の数多くの避難訓練の実施が望まれる。また、地域の協力体制の構築に向けた取り組みが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様に合わせた対応、個別ケアに努めています。申し送りや日々の会話の中でも大きな声でお客様の名前を言わないよう気をつけております	毎年、接遇や法令順守、個人情報保護に関する研修を実施し、職員への浸透を図っている。申し送りでは、利用者の部屋番号などを使って名前を出さないようにしている。また、トイレ誘導では小声で声かけを行うなど利用者の自尊心や羞恥心に配慮したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	答えやすい質問に心がけご本人様の意思を引き出せるようにしております。また、飲み物やおやつ、衣類の自己決定を促しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分や体調に応じて無理のない生活が送れるよう配慮しております。時間に関係なく本人の希望で居室で休んだりして頂いております。朝も目が覚めた方から起きて頂いております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服は選んで頂き、整容も促しています。爪切りや髭剃りのお手伝いをし身だしなみに気をつけております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	皆で楽しく御食事を共にしております。また楽しくお食事をとれるよう机の配置に工夫した対応をしております。	朝食は、会社で作成した献立に基づき職員が手作りしている。昼食と夕食は、食材配送会社のチルド食を提供している。行事食も食材配送会社の多彩なメニューから選んで提供している。敬老会でチルド食にかわり、寿司や刺身のテイクアウトを提供したことはある。	メインとなる昼食や夕食、行事食などを利用者とともに利用者の希望に応じた手作りの料理を作り提供することが望まれる。また、テイクアウトや出前、外食など変化のある食事を提供することが望まれる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様やそれぞれの好みや状態に応じてご家族様からもご協力をして頂きながら食事や飲み物を提供しております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の指示のもと、朝、夕に一人ひとりに応じた口腔ケアを行い出来ることは本人に行っております。また、食前の口腔体操も楽しく行っております。毎月8日を歯の日とし、口腔チェック歯ブラシ交換に努めております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、出来るだけトイレでの排泄ができるよう支援しています。	できるだけトイレで排泄できるよう支援することを基本としている。失禁に備えてリハビリパンツにしている利用者は、失禁がなければ家族と話し合って綿パンに変更している。尿意のない利用者は、排泄時間の記録を見て個別にトイレに誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操を取り入れたり飲食物やマッサージ等で工夫をしておりますが、薬での調節もしております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望がある入居者様には希望に添えるようにしております。入浴拒否の方や重度認知症の方は気分、体調の良い日に入浴して頂いております	週2～3回、昼食時間を除き午前10時～午後3時までの時間帯の入浴にしている。見守りに対応できる利用者ではあるが、希望に応じ夕方の入浴も支援している。お湯は1人ごとに入れ替え、入浴剤や季節に応じて柚子や菖蒲を入れ香りを楽しんで貰っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や体調に応じて休んで頂いております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬は説明書を読み理解し分からないことは看護師や薬剤師へ聞き把握に努めてます。また、変化については経過を記録し往診時に報告しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来ること、楽しめることを探り支援しております。ご家族様に好きな嗜好品があればご協力して頂いたり、月一回のご当地メニューの提供をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様とドライブを楽しまれたり、ご自宅まで外出を楽しまれたり、また春の時期は、近くに散歩に出かけたり、庭のお花を見たりしております。	職員体制に余裕がなく思うように外出することができていないが、西高校の桜見物や外来通院の帰りに買い物やドライブを行っている。また、ウッドデッキのベランダでのお茶会や外気浴、敷地内に植えているブルーベリーや梅の収穫など屋外に出る機会を設けている。さらに、家族の協力を得て外泊や外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル等の心配のないご利用者様がご希望の場合、家族様と連携をとり所持しておりました。また、ご家族様が預けて行った際は必ずスタッフへいくらをどこに預けたかを声かけて頂くようにしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話がかけられるように事務所は開放しております。また、子機が各ユニットにあり、ご本人様、ご家族様がいつでもお互いにお電話が出来るようにしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招く刺激はありません。花や壁画で季節感を出し匂いへの配慮や温度調節も行っております	リビングには利用者と一緒に作成したフェルトの干支を飾っている。毎日、職員が清掃を行い、温度や湿度を調整して快適に過ごせるよう努めている。また、ソファを設置して好きな場所で寛げるようにしている。1階では老夫婦が飼っていた保護犬を引き取り、セラピー犬として飼っている。一緒に寝たり触れ合ったりと、利用者の癒しになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、一人でも足を伸ばしてくつろいだり入居者様同士座ってお話できるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている	入居時にご自宅にある馴染みのある物でそろえて頂くよう準備して頂いております	入居時に、馴染みの物を持ち込んでもらうよう伝え、自宅同様の環境で安心して生活できるように支援している。居室にはベッド・エアコン・洗面台・クローゼットが設置され、利用者は衣装ケース・テレビ・座椅子・仏壇・位牌・炬燵・寝具等を持ち込んでいる。3部屋は希望により畳を敷き和室としている。畳に布団を敷いて寝ている利用者もいるなど、これまでの生活ができるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	新しく入った入居者様がなれるまでトイレの張り紙(トイレ)を貼ったり工夫をしております		